

3. 活動報告<1>

■ 奈良マラソン2014EXPO (12/13、14)

奈良マラソン2014に今年も奈良女子大学としてブースを出しました。昨年から生活環境学部 心身健康学科 スポーツ健康科学コースから「重心動揺計」を使用した体軸測定コーナーを設けていただきましたが、今年は秘密兵器として平衡機能の指標になる「重心動揺計」も持ち込んで興味のある方に測定をしていただきました。意外と後ろに重心があるのだ・・といった事がわかってびっくりされた方、表示される反応速度が本意で何度もチャレンジされる方など、多くの方がブースに立ち寄っていただきました。測定結果は藤原素子教授をはじめ学生が丁寧にデータの見方を説明しました。また、恒例となりました美術部と漫画研究会の学生により無料似顔絵コーナーでは、「昨年もきました」と訪れられる方、あるいは「入学パ
ンフレットありますか?」と声をかけてくださった高校生。走り終えて、学生や教職員の方がタイムや完走の報告にブースに立ち寄って下さいました。



■ 奈良県産業支援コーディネータ会議・奈良女子大学見学会 (12/19)

関西文化学術研究都市推進機構の調査役、新産業創出交流センターコーディネータ、奈良工業高等専門学校の産学官連携コーディネータ、奈良県地域産業振興センターのコーディネータ、奈良県産業振興総合センターの生活・産業技術研究部長、基盤技術・ソリューションG、ものづくり支援係からと多くの方が、本学見学会にご参加いただきました。主催者(奈良県産業支援機関担当者見学会)より、奈良県のLiving Science取組みと重ねて、生活環境学部での取組みを見学させていただきたいと指名のあった久保博子研究室(高齢者も含む居住者の健康で快適な住環境に関する研究)、芝崎学研究室(高齢者も対象とした体温調節機能等の衣に関する研究)の2研究室の見学と、生活環境学部三木学部長との懇談会が開かれました。



■ 奈良経済同友会との懇談・交流会 (1/19)

本学コラボレーションセンターにて、第9回目となる奈良経済同友会との交流・懇談会が開催されました。この交流・懇談会は、奈良経済同友会と本学との連携を深め、地域の活性化に一層貢献することを目的に平成18年度から開催されているものです。

今年は、アクティブリンク株式会社 社長 藤本弘道氏「パワーバリアレス社会の実現を目指して」からの話題提供に合わせて、本学からは以下の研究と学内事業紹介がなされました。

「温冷感覚の情動性とインターフェース応用」

研究院生活環境科学系 佐藤克成講師

「奈良女子大学における理系女性リーダー養成」

研究院自然科学系 上江洌達也教授、

その後、学外に会場を移して懇親会も開催されています。





■ 京都ビジネス交流フェア2015（2/18、19）

京都でのフェアに本学も参加のお声がけをいただく機会が増えました。京都ビジネス交流フェアは、京都府、公益財団法人 京都産業21が主催で、京都パルスプラザ（京都府総合見本市会館）を会場に開催されました。産学連携といえば、工学部と大企業との連携が強くイメージされますが、このフェアの会場でも芸術大学の前で足を止める方が多く、商品にビジュアル的付加価値をさまざまな視点から付けるといった傾向が強くなっていると感じました。本学にもまた、女子学生の視点からの意見がほしいとおっしゃる企業ニーズが増えています。連携の機会へのきっかけの他、大学広報的要素もあるビジネスフェアです。大学案内パンフレットを希望されるビジネスマンの方もおられます。学校や公設試験機関等からの出展料は免除していただけるフェアが多く、来年度以降も積極的に出展していきたいと考えています。



■ 奈良女子大学第12回研究フォーラム（3/27）

社会連携センターでは学外ビジネスフェアへの出展の他、一般の方に奈良女子大学へお越しいただくことで大学の研究内容をより身近に感じていただく機会を毎年1回、開催しております。本年度は、2014年11月18日にプレス発表されました【理工系の女性リーダーを育成するため、奈良女子大学とお茶の水女子大学とで2016年度から共同運営いたします「大学院生活工学共同専攻」（仮称）】に関連する研究事例紹介としました。研究院生活環境科学系 黒子教授より「奈良女子大学 大学院生活工学共同専攻のご紹介」という概論報告の後、「健康にかかわる住まいの生活工学」として研究院生活環境科学系 久保博子教授、本学を1987年に卒業された東洋紡株式会社 コーポレート研究所快適性工学センター 石丸園子部長より「感覚計測技術による快適性に優れる商品開発について」、甲南大学 知能情報学部 才脇直樹教授より「生活工学を彩る情報処理」と快適性や人間の好奇的要求に対する現在の技術等を発表していただきました。東洋紡株式会社 コーポレート研究所快適性工学センター 石丸園子さんは、「私は家政学部出身でしたので、『これから快適性を求めた素材開発を』という社内の方針の一つの方針に対しても違和感はありませんでしたが、工学部で高分子を専門にされた方などはざっくりとした表現に戸惑われたのではないのでしょうか」と、現在の細分化された工学的専門性に対して、大きな視野でものごとを見ることが出来る家政学という分野、これからの生活工学というカテゴリーへの期待をご自身の経験に合わせて紹介されたように思います。

なお、大学院生活工学共同専攻に関する学生募集要項は本年9月に詳細が発表されます。



3. 活動報告<2>

本紙は産学連携推進レターとして、産学連携推進事業での活動報告を中心に（個別の研究案件については公開できませんことご容赦ください）報告していますが、地域連携推進事業との境界にあたる事業について、「活動報告<2>」としてご紹介します（公開講座、シンポジウムは地域連携推進事業です）。

■ 第二、三期 『一歩ふみ出す女性への手紙』

卒業、進学、就職…。家族、家庭の中で…。希望の中にも不安を抱えるとき、そっと背中を押してくれるメッセージで心がふっと軽くなる…。社会連携センターでは、これから一歩を踏み出す女性への応援メッセージを募集してまいりました。いただいたメッセージにはどれも「愛」が、「優しさ」が溢れています。その中から 入選8作と優秀賞2作を選ばせていただきましたのでここにご報告いたします。すべての応募作品は大学HPに掲載しています。入選作品は卒業式の日にご講堂内の会場入り口に貼らせていただきました。

【優秀賞】

- ・貴女は志が高くその瞳は上を向いている。でも左右も見て。貴女の世界は無限。つまずいても先はまだある。
- ・古都の風、揺れる黒髪たなびかせ、自信と勇気を胸に秘め、君のその一歩が、新風を呼び起こす

【入賞】

- ・あなたの一番したい事は？人への気遣いも大切だけど、もっと自分の声を聴いて。あなたが主人公の人生よ。
- ・自分自身と時代とに向き合い、背筋を伸ばして生きている人は美しい。そんな貴女の応援団長に私はなりたい。
- ・人生は選択の連続、ありのままに正直に、振り返れば人と違ってても、その生き方に悔いはない。
- ・迷い、あなたが決めた道なら歩いてみましょう。描いた形でなくても、必ずあなたの財産となるのですから。
- ・やってみよう。大丈夫。もう一回、もう一分、もう一人、もう一言、そして、もう一歩。諦めない。夢はそこに。
- ・青い空がまぶしいのは雨の日があるから。あなたの一歩がぬかるんでいても晴れた日はきっときます。
- ・疲れたら休めばいい。誰が何と言おうと、貴女の人生なのだから。気力が満ちてくれば再び立ち上げられるはず。
- ・あなたが私の歳になったとき、決して眉間ではなく、目尻に美しい皺が刻まれていますように！

■ 公開講座

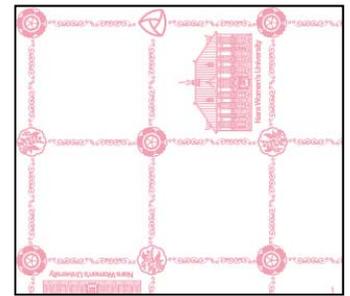
3月27日に、なら学プロジェクト共催にて実施しました公開講座を最後に、平成26年度公開講座をすべて終了いたしました。各講座の写真等は

http://www.nara-wu.ac.jp/liaison/lecture/activity_2014.html に掲載しています（一部、東京での実施分等、スタッフが同行できずに写真が無いものもあります）。30を超える講座に関わらせていただきました。すでに平成27年度分も皆さまのご協力ではほぼ日時が確定しており、HPでご案内しています。

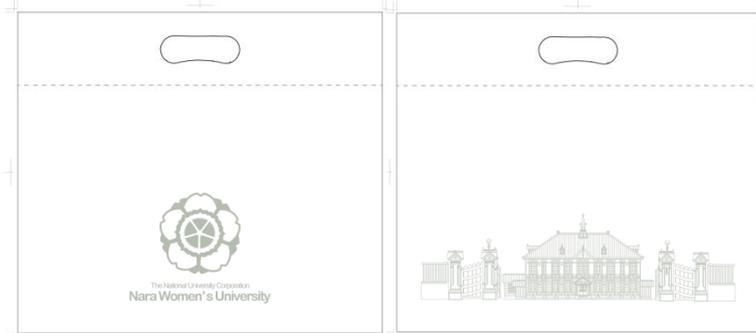


6. 大学グッズ情報

- 生協包装紙のデザインが、社会連携センター提案のものに決定しました。
大学学章をメインに附属中等教育学校校章、佐保会徽章が散りばめられています。記念館もところどころに入っています。
- 大学ビニール袋ができました！
これまで手提げ袋を学会などでのご希望に応じて配付してきましたが不織布であっても1枚140円程度かかっています。パンフレット数冊分だとこのビニール袋が价格的にもお洒落度も断然お得です！



材質:梨地 生地色:乳白 サイズ:厚み007mm
幅350×高310mm印刷:表裏シルバー 製袋:サイドシール



材質:梨地 生地色:乳白 サイズ:厚み007mm
幅250×高310mm印刷:表裏ピンク 製袋:サイドシール

7. 各種公募情報

ここでは研究助成公募を載せています。
各種表彰などについては下記URLをご参照ください。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/koubo.html>
また本学に募集のあった共同研究の公募については
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei/kyoudou.html>
をご参照ください。

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(公財)生命保険文化センター 平成27年度生命保険に関する研究助成

- 【公募時期】平成27年4月30日(必着)
- 【助成対象】生命保険およびこれに関連する分野の研究
- 【助成金額】上限50万円
- 【備考】対象者:大学院生(博士後期課程)、助教、講師、准教授 大学院生の場合は指導教員の推薦書要

(公財)関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 平成27年度助成事業 A.第24回エネルギー・リサイクル分野 B.第21回総合防災科学分野

- 【学内締切】平成27年8月18日
- 【助成対象】A.電気エネルギーの供給・利用技術、電気エネルギーに係る資源リサイクル技術等に関する研究
B.被災時における電力供給をはじめとするライフラインの早期復旧に資する研究
- 【助成金額】上限100万円/件 平成28年度
- 【備考】応募対象:(H28/3/31現在)40才以下の常勤研究者 申込書類(Word形式)は、HPより請求

(一般財)水源地環境センター 平成27年度WEC応用生態研究助成

- 【公募時期】平成27年4月6日(18時必着)
- 【助成対象】既設のダム貯水池に係わる生態系・水環境(上下流・周辺を含む)に関する研究
応用生態学的アプローチを考慮したダム貯水池に係わる土砂動態に関する研究
- 【助成金額】1件につき上限単年度:100万円、2カ年度:総額150万円 単年度又は2カ年度
- 【備考】学生・大学院生申請可(指導教員の承諾要) 申請書pdfファイルを電子メール送信 間接経費は助成対象外

(公財)日本生命財団 平成27年度ニッセイ財団環境問題研究助成

【公募時期】平成27年4月6日(消印有効)

【助成対象】人間活動と環境保全との調和に関する研究 A.学際的総合研究 B.若手研究・奨励研究

【助成金額】1件あたりA:1000~1500万円 B:50~150万円程度 H27/10- A.2年間 B.1年間

【備考】応募資格:B:45歳以下(S45/4/1以降生まれ) 学生、院生は応募不可 一般管理費助成対象外

(公財)サントリー文化財団 2015年度研究助成 前期募集

【公募時期】平成27年4月10日(消印有効)

【助成対象】A.人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成 B.地域文化に関するグループ研究助成

【助成金額】50-300万円/件 H27/8/1-H28/7/31

【備考】A.B.併願不可 個人研究、一つの組織・機関の研究者のみで構成された研究は対象外
間接経費は助成対象外

(公財)ひと・健康・未来研究財団 平成27年度研究助成

【公募時期】平成27年4月1-30日(消印有効)

【助成対象】食品、環境、医学、福祉などの研究

【助成金額】20-100万円/件 H27/9-H28/8末

【備考】一般管理費は助成対象外

(公財)国土地理協会 平成27年度学術研究助成

【公募時期】平成27年4月1-17日(必着)

【助成対象】地理学および関連する分野 他

【助成金額】上限100万円/件 1年

【備考】大学院博士後期課程修了、もしくは同等以上の能力と研究経験を有していること
大学院生応募可(指導教員が代表者となる)

(公財)立石科学技術振興財団 2015年度研究助成(S)

【学内締切】平成27年5月20日

【助成対象】「人間と機械の融和」のあるべき姿を想定・提示し、統合技術およびプロトタイプの開発と機能検証、実証実験を目標とする研究プロジェクト

【助成金額】上限3千万円/3年 3年間(H27/10~H30/9末)

【備考】申請は電子メールと郵送(5/31消印有効)の両方要 申請書類は財団事務局へ電子メール請求

総務省 平成27年度戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)

【学内締切】平成27年4月2日

【助成対象】1.重点領域型研究開発(ICTイノベーション創出型・先進的通信アプリケーション開発型) 2.若手ICT研究者等育成型研究開発 3.電波有効利用促進型研究開発(先進的電波有効利用型・若手ワイヤレス研究者等育成型) 4.地域ICT振興型研究開発「人間と機械の融和」のあるべき姿を想定・提示し、統合技術およびプロトタイプの開発と機能検証、実証実験を目標とする研究プロジェクト

【助成金額】要領参照

【備考】2,3.若手研究者要件あり 電子申請(e-Rad)と別に、電子メール、送付または持込により提出
応募される方は学内締切までに、提案書類の写しを研究協力係に提出願います

(公財)戸部真紀財団 平成27年度研究助成

【学内締切】平成27年4月8日

【助成対象】化学・食品科学、芸術学、体育学、経営学

【助成金額】100万円/件 1年間

【備考】応募資格:(H27/4/1現在)40才以下 学系長推薦書要

(1) 奈良女子大学メールマガジンを配信しております。

3月13日時点で485号と9年目に入りました。読者数は910名程度です。

メールマガジンへの配信記事(研究会広報、大学構内写真、大学周辺写真等)がございましたら、

e-magazine@cc.nara-wu.ac.jp までお送りください。